

# No. 1380

## 初夏

— 愛知・鳳来 —

初夏の風物詩、アユ釣り。愛知県設楽郡鳳来町の寒狭川で6月21日、全国アユ釣り大会が行われました。雨がふったりやんだりのあいにくの天気にもかかわらず、愛知県下はもとより遠くは関東、関西方面から泊まり込みで約1,000人の釣ファンが参加しました。地元、寒狭川中部漁協の話では今年のアユは予想外に成長しており、大きいものでは20cmをこえているという。しかし、この日はやや水温が低かったため、アユの動きが鈍く、釣ファンにとってはややあてはずれ。それでも大自然のなか引きの強いアユ独特のサオの感触を楽しんでいました。

## 自民党、圧勝

— 衆参ダブル選挙 —

80年代の政治動向を決める衆参両院の選挙は、6月22日投票、翌23日朝から全国一斉に開票が行われた。選挙期間中、大平首相急死という異常事態に国民の関心が高まり、投票率は73%を超えた。野党各党はこのダブル選挙を連合時代の幕明けと見て自民党一党支配打破を中心に訴えてきた。しかし社公民の足並みはそろわず、衆院選では野党第一党の社会党は長野3区、岡山2区など4つの選挙区で議席を取りもどしたものの、福岡2区では多賀谷真稔書記長が落選、飛鳥田委員長も滑り込みで当選するなど苦戦をしいられ、解散時の107の議席にとどまった。公明党は現職議員が相ついで落選、58議席からいっきょうに34議席まで後退。共産党にも情勢はきびしく、51議席を目ざしていたが、現状の41議席獲得はおろか12議席を失い、野党第4党に転落した。保革のわくを超えた「国民大連合政権」樹立をかかげた民社党も伸び悩み、解散時勢力にいま一步の32。これに対し、新自由クラブは青森、福島などで着実に票を伸ばし、3倍増の12議席を獲得。社民連も議席をひとつ増やし3とし躍進した。自民党は開票が進むにつれて、各地で順調に票をのぼし議席を獲得。西村副総裁が落選したものの宮崎2区、鹿児島3区などでは議席を独占、最終的には単独で安定多数を超える284議席で大勝した。一方参院選でも自民党は予想外に議席を重ね、地方区、全国区で69の議席を伸ばした。何かと話題の多い参院全国区では「政治を汚れたプロの手から素人に」のキャッチフレーズで立候補した革自連の中山千夏さんが当選、政界に新風を吹き込んだ。都民党の美濃部前東京都知事も当選を決めた。自民党圧勝で終わった日本政治史上初のダブル議席。与野党伯仲状態は終り、自民党安定多数時代を迎え、当面の政局は「ポスト大平」に焦点が絞られることになった。